

海外出版の動向2020

新型コロナウイルスは欧米の書籍出版をどう変えたのか

パンデミックで本に何が起きたか？

Covid-19が人々の生活を大きく変えてしまった

- シャットダウンのため書店に行けない
- 経済へのダメージで裁量消費支出の減少
- #MeToo、#BLMなど社会問題への関心

- WFHによる巣籠もり需要
- 宅配デリバリー業の需要
- 学校閉鎖による需要

2020年前半期の書籍 売上げ4.2%減

全米出版社協会(APA)発表

前半期の総売上げ57億ドルの内訳

- 一般書の売り上げは3%増
(特に6月の売上げは7億ドルで、
前年比24.4%増)
- Eブックは12.7%増、特にYAのカテ
ゴリーでは62.4%増
- オーディオブック14.1%増
- 減っているのは
教科書/教育書(15.9%減)、
専門書(12.4%減)、

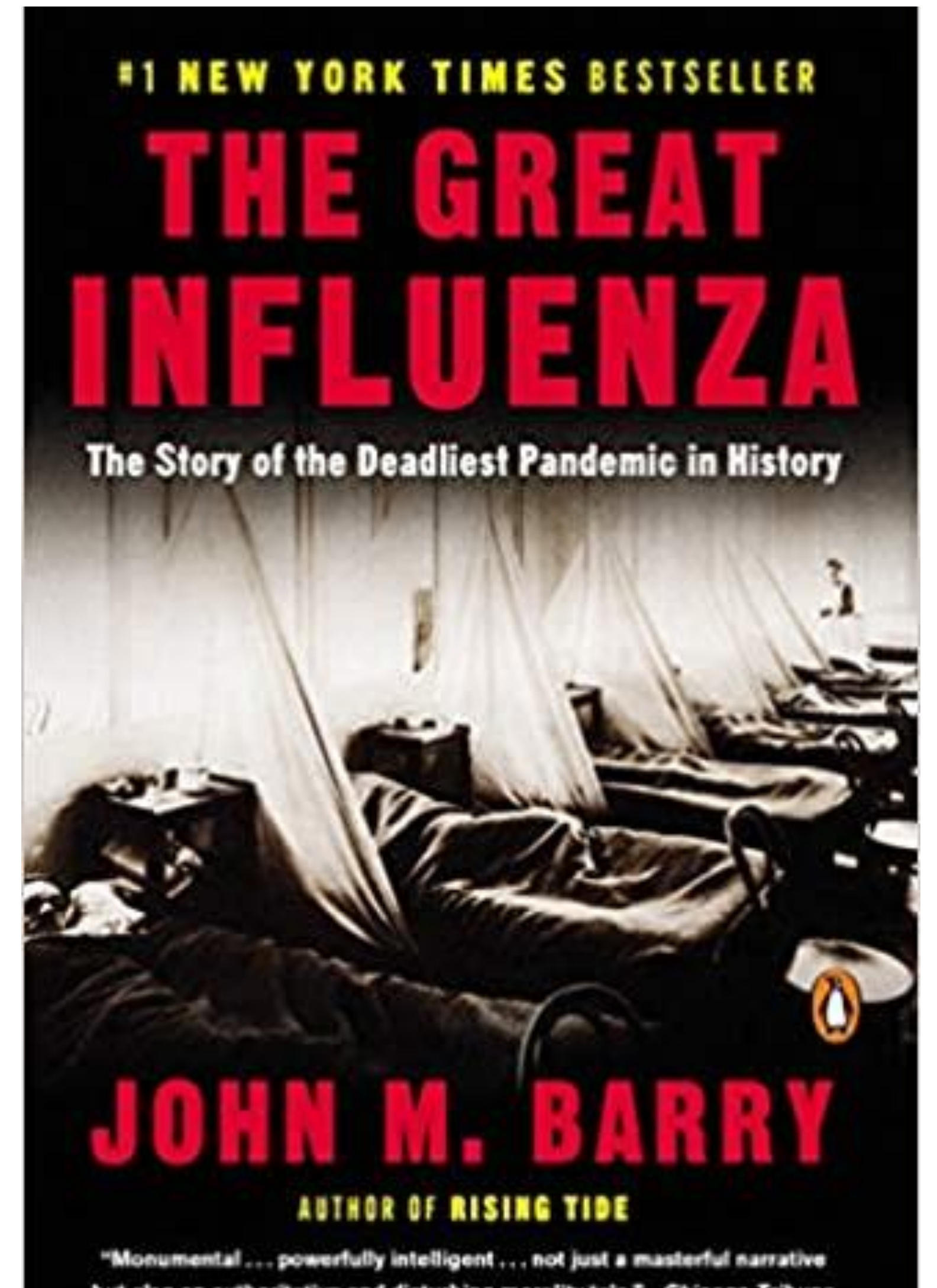


大学図書(3.5%減)

2020年ベストセラーの傾向

パンデミックの中で売れている本

- パンデミック全般に関するノンフィクション
- ドナルド・トランプ大統領の暴露本にも変化
- #MeToo問題、#BLM運動など、近年浮き彫りになった根深い社会問題を理解するためのノンフィクション
- J・グリシャム、N・スパークス、J・パターソンなど、おなじみのベストセラー作家による新作



キャプションを入力してください。

アマゾンの快進撃は続く

- 2020年9月までの9ヶ月で総利益は58億ドル増加、前年比70%増
- 紙でもEブックでも、米国内の書籍売上の約半分のシェア
- パンデミック不況の中で雇用主として拡大、国内の従業員数は100万人に
- 8月下旬にジェフ・ベゾスの総資産が2000億ドルを突破
- 独禁法違反の訴訟も大統領交代後に変わる可能性



図書館向けEブックの値段をめぐるバトル

インターネット・アーカイブvs著者/出版社

- 非営利団体であるインターネット・アーカイブが3月に「国立緊急図書館」を設立、140万冊から1人10冊までをネットで借りられるようにした
- 米大手出版社が著作権侵害を訴えた
- それまでの制限付きデジタル貸出し（CDL）
- 公立図書館のEブック貸出し問題
- インターネット・アーカイブのファクトチェック機能

インディペンデント書店の行方

コミュニティづくりの挫折、不透明な未来



- 1月に米でオープンしたBookshop.orgウェブサイトが国内900店舗、6月末で1日の売上げ100万ドルに成長、英でも130店舗と提携し今月から始動
- ABAのBoxed-outキャンペーン、Powell'sの本のフレグランスなどは一時しのぎのギミック
- ストランド書店の特殊な事情
- ABAは2割が閉店の危機と公表

ありとあらゆる
情報が映像化へ

すべての映像化で、紙の教材はなくなっていく 「学ぶ」「知る」「調べる」ことの変化

- パンデミックで学校が閉鎖される前から教育書出版社は不振、フォレットなどの教材提供会社やベーカー&テイラー（学校・図書館向けの取次）を買収
- ZOOMを使ったオンライン授業が不可欠
- バーンズ&ノーブル教科書部門の終焉が見えてきた
- 日本の高等学校学習指導要領で「論理国語」が選択科目に

なくならないのは power of storytelling

- どんな映像作品もテキストを元に行している
- 「鬼滅の刃」の大ヒットをこの文脈で考える
- 映像作品からの知識で欠けがちなのは「想像力」
- 世界を相手にした文学賞で日本発のコンテンツの実力

解説コラム・記事へのリンク

<パンデミック前に書いた「アメリカの書籍出版産業2020：これまでの10年と、これからの10年について」>

[1. Eブックで起こったディスラプション／米司法省対アップルと大手出版5社の談合の結末](#)

[2. 大きくなって交渉力をつけるか、小さくやってニッチを突くか/アメリカ出版業界の海賊版対策](#)

[3. セルフ・パブリッシングから生まれた本のアマチュアリーグ/Eブック市場はこれからの10年でどうなる？](#)

[4. 出版社のこれからの10年を握るカギはやっぱりアマゾン/書店の二極化：大手チェーンとインディ書店](#)

[5. インディペンデント書店はなぜリバイバルできたのか？](#)

[6. いわゆる取次や印刷はどうなっているのか](#)

[5. メチャ売れしたのは「オンナコドモ」の本...だけどそれでいい気がする](#)

<トランプ暴露本トップ3レビュー>

[ボブ・ウッドワードの『RAGE』は暴露本ではなく、ドナルド・トランプ政権の厳しい精査](#)

[小物マフィアみたいなトランプ大統領の個人弁護士が良い人にさえ思えてくる暴露本](#)

[メラニアに同情する気がみごとにこれっぽっちもなくなる暴露本「Melania and Me」](#)

[コロナ時代に向けたデジタル本のシェアリングを考える時がやってきた](#)

[海賊版問題と著作権者への影響](#)

[アマゾン反トラスト法（独占禁止法）で裁かれるか？](#)

[米司法省がグーグルを独禁法違反で訴追、その訴状内容と判決の見通しは？](#)

[インターネット・アーカイブの無料電子書籍貸し出しに著者団体が抗議](#)

[図書館向けEブックの値段設定に頭を悩ませるアメリカの出版社](#)

[海外出版ニュース 5.22.2020 フランスでもコロナ禍後の書籍売上は厳しそう](#)

[海外出版ニュース 5.14.2020 再開秒読みの米書店が抱える不安と期待](#)

[海外出版ニュース 5.12.2020 コロナぐらいじゃメゲないイギリスの書籍出版業界](#)

[アメリカの書籍取次ベイカー&テイラーが書店向け卸業から撤退](#)

[コロナ時代に向けたデジタル本のシェアリングを考える時がやってきた](#)

[アメリカの図書館はコロナ禍にどう立ち向かっているか？](#)

[新型コロナウイルス対策で厳しい選択を迫られるアメリカの書店](#)

海外出版事情についてはhon.jpやnote (<https://note.com/lingualina>)で定期的におすすめしているので応援よろしく！